

# 一般質問の概要（6名6件）

平成25年第1回 二宮町議会定例会

○3月11日（月）午前9時30分～

（二見泰弘、添田孝司、三橋智子、神保順子、小笠原陶子、浅賀一伸 各議員）

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	二見泰弘 議員	<p>二宮町民の安全・安心のため、地震・津波の防災・減災について問う。 （放映件名：二宮町民の地震に対する安全・安心について）</p> <p>①消防団分団詰所や自主防災組織の災害時地区本部の耐震化について 分団詰所や災害時地区本部の耐震化について整備計画はあるのか。</p> <p>②消防団の強化について</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 危険な場所での活動制限について 安全を配慮し活動する事の団員教育はしているか。</li><li>2. 消防団分団詰所の設備・物資の充実強化 分団詰所において、災害時に必要な燃料、食糧、水、非常用電源、救助用機材の備えは。</li><li>3. 通信設備の強化 消防本部、団本部、署、分団相互の情報共有は非常に必要、発災時の通信手段は。</li><li>4. 消防団員の確保について 各分団において団員確保に非常に苦勞しているが、町職員の入団について緩和したら。また現在全国的に女性の入団が多くなっているが町の見解は。</li></ol> <p>③自主防災組織の強化について 自主防災組織には消防団員の経験者が多くいます、現役団員時代の経験を生かし、各自主防災に可搬式小型動力ポンプを配備できないか。</p> <p>④学校での防災教育の充実強化について 生徒の危機回避能力、防災行動の向上のため、年代に応じた総合防災教育を学校の年間指導計画へ組み込めないか。また現在の教育内容は。</p> <p>⑤津波ハザードマップについて 平成22年3月町民に配布したハザードマップと現在県が発表した予測と大分違うが、修正は、浸水予測地区住民への周知、説明はするのか、また海岸にいる人達への津波伝達方法と避難ルートは。</p> <p>⑥耐震化のための工事費用の助成金制度について 地震時問題になるのが、ブロック塀の倒壊です、住宅リフォームの助成対象外です、対象にすべきと思いますが。</p>

2	<p style="text-align: center;"><b>添 田 孝 司</b> 議員</p>	<p><b>行財政運営及び改革について問う</b> <b>(放映件名：行財政運営及び改革について問う)</b></p> <p>1. 3月補正予算並びに平成25年度予算において大規模投資予算が計上されている。平成25年度町債発行予算が6億4,820万円となり元金償還見込額5億6,700万円を超えと思われる。平成21年度から5年連続で町債発行額が償還額を超えており、町債残高は増加の一途で、町債で町の総資産が増やし続けている。町債は資産形成財源であるが借金なので将来世代の負担となる。町の人口減少傾向が著しい状況下で、それでも将来世代負担を増やす町の町債戦略について問う。</p> <p>2. 次に公共施設管理について問う。公共施設の老朽化が進展して一部地域施設の更新又は改築要望が出されるようになった。今後は耐用年数に達する町や地域の施設が順次出てくる。公共施設白書も3月までに整備されるので今後の計画について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 公共施設管理の公共施設課への一元化、現状と今後の計画</li> <li>— 公共施設更新や改築費用の確保について</li> <li>— 今後の財源確保に向け基金に減価償却費を積み上げていく考えはあるか</li> </ul> <p>3. 次に行政改革推進計画の進捗状況について問う。大綱の基本的な考え方で目的がいくつか述べられているが、究極的な目的は経費削減と思われる。特に義務的経費の削減が求められる。人件費は唯一自己でコントロールできるものであるが、この3年間ほとんど増減がない。一方平成23年度の各自治体の給与水準を表すラスパイレズ指数では二宮町は95と県下でも下から2,3番目の低給与水準であり、給与水準を下げるのは難しいが、行革の目的の一つある業務の効率化によって、常勤、非常勤の職員数を減らす検討はしているか。</p>
3	<p style="text-align: center;"><b>三 橋 智 子</b> 議員</p>	<p><b>魅力ある子育て支援の発信を！</b> <b>不妊・不育症対策と予防接種事業を問う。</b> <b>(放映件名：不妊・不育症対策と予防接種事業を問う)</b></p> <p>安心して子どもを産み育てられるまちづくりをめざし、町は25年度を「子育て元年」と位置づけた。 さらなる支援の充実を期待し、将来の定住促進を見すえて3点の子育て支援策をうかがう。</p> <p>1. 子どもがほしくても産めない家族の悩みに対する支援 不妊治療・不育症治療に対する町の考えを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①町内の現状と町の認識はどうか</li> <li>②周知や相談体制はとれているか</li> <li>③経済的支援の考えはあるか</li> </ul> <p>2. 子宮頸がん等ワクチンの接種が、定期接種化された事ともなう、他の事業の考えを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①他の定期接種や妊婦健診の財源</li> <li>②国が行なうHPV検査の試験的実施に対する考え</li> <li>③インフルエンザ予防接種に対する町の考え</li> </ul> <p>3. 定住促進のツールとして、ホームページの活用は大きい。子育て支援が前面にでるホームページにかえる計画があるのか問う。</p>

4	神保順子 議員	<p>子ども達が安心して学校生活を送るための防災対策とこれまでの町防災対策における進捗状況について (放映件名：安心して学校生活を送るための防災対策)</p> <p>①震災時における子どもたちへの対応 ②保護者との連絡体制について ③非常備蓄の整備について ④通学路の安全性とその対策 ⑤町・地域・学校との連携 ⑥災害時要援護者対策の進捗状況 ⑦町防災会議への女性登用の重要性</p>
5	小笠原陶子 議員	<p>商業活性化と朝市支援について (放映件名：商業活性化と朝市支援について)</p> <p>商業者が店頭で顧客を待つだけでなく、地域に出かけて行ってふれあい、商品を販売する有効な手段が朝市である。二宮町では海の朝市を二宮町漁業協同組合が実施し、それを経済課 産業振興班が支援しているが、その運営の充実と環境整備が求められる。また、ラディアンでは12年前からラディアン朝市を町内有志が運営している。県内でも一定の認知がされているが、運営は厳しい。町として側面支援が求められるが町の対策を伺う。</p>
6	浅賀一伸 議員	<p>「住みたい町」づくりをより進めるため、町民福祉の充実を (放映件名：町民の健康を保つための助成制度充実を)</p> <p>① 小児向け肺炎球菌ワクチン接種は国の恒久措置として費用助成が決まっているが、高齢者向けの措置は行われていない。 町として高齢者向けの肺炎球菌ワクチン接種費用助成制度を設ける考えはあるか。 ② 小児医療費助成を中学3年生まで拡充すべきと考えるがどうか。</p>